

参考資料

- ①令和5年度狛江市市民意識調査
- ②狛江市のまちづくりに関するアンケート
(小・中学生アンケート)
- ③狛江高校まちづくりに関するアンケート
- ④狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ
- ⑤狛江市前期基本計画推進プラン
(令和4年度進捗状況報告書) 一部抜粋

①【令和5年度狛江市市民意識調査】

○調査概要

1 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「後期基本計画」を策定する上で、市民の狛江市に対する思いやこれからのまちづくりに期待すること等を把握し、検討の基礎資料とするため、市民意識調査を実施した。

2 調査設計

- (1) 調査対象…満18歳以上の市民（令和5年7月1日時点）
- (2) 調査票数…2,500人
- (3) 抽出方法…狛江市住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法…郵送配布・郵送又はWeb回答
- (5) 調査期間…令和5年7月31日～8月22日（23日間）

3 調査項目

- (1) 回答者属性（問1～問6）
- (2) 狛江市について（問7-1～問8-3）
- (3) 狛江市総合基本計画施策について（問9～問15）
- (4) 市政に関する意見・要望等（問16）

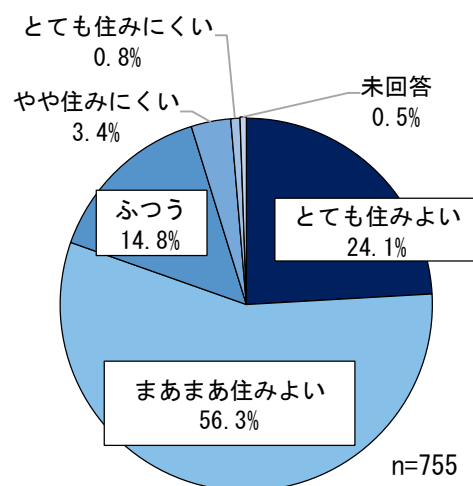
4 回収結果

755通（回収率30.2%）

○調査結果

問 狛江市は住みよいと思いますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

	票数	構成比
とても住みよい	182	24.1%
まあまあ住みよい	425	56.3%
ふつう	112	14.8%
やや住みにくい	26	3.4%
とても住みにくい	6	0.8%
未回答	4	0.5%
合計	755	



問 狛江市が住みよい理由は何ですか。(とても住みよい、まあまあ住みよいと答え
た方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	水と緑が豊かなまちだから	305	19.8%
2位	安心・安全に過ごせるまちだから	249	16.2%
3位	コンパクトさを活かしているまちだから	211	13.7%
4位	交通環境が良いまちだから	172	11.2%
5位	ごみの少ない、きれいなまちだから	88	5.7%
6位	子育てしやすいまちだから	59	3.8%
7位	健康に暮らせるまちだから	54	3.5%
8位	農業が盛んなまちだから	52	3.4%
9位	みんながやさしいまちだから	50	3.2%
10位	道路・排水が整備されているまちだから	47	3.1%
11位	お店が充実しているまちだから	44	2.9%
12位	地域のつながりが強いまちだから	39	2.5%
13位	にぎわいのあるまち(イベントなど)だから	32	2.1%
14位	美しい景観・まち並みのあるまちだから	31	2.0%
15位	その他	24	1.6%
16位	未回答	18	1.2%
17位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みやすいまちだから	16	1.0%
18位	歴史・文化財を大切にするまちだから	15	1.0%
19位	市民活動が盛んなまちだから	14	0.9%
20位	文化が育まれているまちだから	6	0.4%
21位	若者が多く活気のあるまちだから	5	0.3%
22位	スポーツが盛んなまちだから	4	0.3%
22位	教育環境が充実しているまちだから	3	0.2%
24位	生涯に渡り学び続けられるまちだから	1	0.1%
合 計		1,539	

問 狛江市が住みにくい理由は何ですか。(やや住みにくい、とても住みにくいと答えた方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	お店が充実していないまちだから	19	21.6%
2位	道路・排水が整備されていないまちだから	9	10.2%
2位	その他	9	10.2%
4位	コンパクトさを活かしていないまちだから	6	6.8%
4位	交通環境が悪いまちだから	6	6.8%
6位	安心・安全に過ごせないまちだから	5	5.7%
6位	教育環境が充実していないまちだから	5	5.7%
8位	やさしさが足りないまちだから	4	4.5%
8位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みづらいまちだから	4	4.5%
8位	美しい景観・まち並みのないまちだから	4	4.5%
11位	子育てしづらいまちだから	3	3.4%
12位	水と緑が豊かではないまちだから	2	2.3%
12位	地域のつながりが弱いまちだから	2	2.3%
12位	にぎわいのないまち(イベントなど)だから	2	2.3%
12位	健康に暮らしづらいまちだから	2	2.3%
12位	ごみがありきれいではないまちだから	2	2.3%
17位	文化が育まれてないまちだから	1	1.1%
17位	若者が少なく活気のないまちだから	1	1.1%
17位	市民活動が盛んではないまちだから	1	1.1%
17位	未回答	1	1.1%
21位	農業が盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	歴史・文化財に触れにくいまちだから	0	0.0%
21位	スポーツが盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	生涯に渡り学び続けづらいまちだから	0	0.0%
合 計		88	

問 狛江市総合基本計画施策についてお聞きします。

それぞれの施策について施策が進んでいる（評価できる）と思うか、この施策を優先して（継続して）進めるべきだと思うかについて選択肢の中から1つずつ選んでご回答ください。

(1) 施策が進んでいる（評価できる） と思いますか	とても そう思う	ややそう 思う	どちら でもない	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
2 まちの姿2 安心して暮らせる安全なまち					
①防災体制の充実	84	336	224	74	18
②防犯対策の強化	79	283	261	100	16

(2) この施策を優先して（継続して）進 めるべきだと思いますか	とてもそう 思う	ややそう思 う	どちら でもない	あまり そう思わ ない	まったく そう思わ ない
2 まちの姿2 安心して暮らせる安全なまち					
①防災体制の充実	433	217	69	6	10
②防犯対策の強化	444	207	67	14	8

問 次期基本計画又は市政に関してご意見、ご要望などございましたら、ご記入ください。（抜粋）

- ・住んでいる近所の道路が交通量のわりに安全性に問題があります。
- ・子供が生き生きと安全に暮らせる街づくりをすすめていってください。
- ・安全、安心、地域の活性化、住み良い街づくりを進めていただきたい。
- ・夜遅くなると女性ひとり歩きは不安な所が多い。昼であれば安全な市と思っています。
- ・安心、安全な町と考えて、人口もそう多くなく、現在まで生活しやすいと考えて暮らしております。
- ・一方で、去年は白昼に殺人事件が起こったり、夜間は照明が少なく人通りがないので、治安の面には不安を感じます。引っ越してまもないせいか、災害に対する備えの点も情報が少なく心配です。生活の安全について、力を入れて発信してもらえたらと思います。
- ・是非、狛江の地の利をいかした全ての人が共生できる街づくりの一つに安全安心な道路整備を希望します。
- ・市の中心部から離れている場所を散歩した時などにこの地域では生活上の便利性、安全性はどうなのだろうかと思うことがある。
- ・新しいものばかりではなく、古い施設や環境整備されていない場所の改善にも目を向けて欲しい。安全に生活が出来るように暗い路地の改善、街灯整備、道路拡張(子どもや老人、しょう患者)段差や砂利道の整備にも目を向けて欲しい。

②【狛江市のまちづくりに関するアンケート(小・中学生アンケート)】

○調査概要

(1) 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、小・中学生が狛江にこれからどんなまちになってほしいと思うか等を把握し、検討の基礎資料とするため、小・中学生アンケートを実施した。

(2) 調査設計

①小学生アンケート

- ・調査対象…市内小学校5年生
- ・児童数……605人
- ・調査期間…令和5年7月7日～20日

②中学生アンケート

- ・調査対象…市内中学校2年生
- ・生徒数……478人
- ・調査期間…令和5年7月7日～20日

(3) 調査項目

①小学生アンケート

- ・どこの学校に通っているか
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

②中学生アンケート

- ・どこの学校に通っているか
- ・大人になっても「狛江」に住み続けたいか(中学生のみ)
- ・その理由
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

(4) 回答結果

- ①小学生アンケート 432件(回答率71.4%)
- ②中学生アンケート 376件(回答率78.7%)

小学生

問 狛江にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		回答数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境(かんきょう)にやさしいまち	213	17.3%	2位
2位	犯罪(はんざい)や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	210	17.0%	1位
3位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲(なか)が良いまち	162	13.1%	6位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	153	12.4%	4位
5位	地震や台風などの災害(さいがい)に強い安全なまち	110	8.9%	5位
6位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	92	7.5%	3位
7位	お年寄りや障(しょう)がいのある人がいきいきと過ごせるまち	86	7.0%	8位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	79	6.4%	7位
9位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	47	3.8%	9位
10位	狛江産の野菜や果物(くだもの)などがたくさん食べられるまち	26	2.1%	10位
11位	商店街などのお店が多くて活気(かっき)があるまち	23	1.9%	11位
12位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	20	1.6%	12位
13位	そのほか	11	0.9%	13位

問 えらんだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。(抜粋)

【5 犯罪(はんざい)や交通事故が少ない安心して暮らせるまち】

- ・訓練できる機会を多くする。
- ・シルバー人材センターからの警備の派遣の強化や、保護者の見回りの強化、犯罪を起しにくい、又、すぐに発見出来る市の開発。信号を増やしたり、横断歩道のできるかぎりの増加や、見通しの良い道路開発。市民や議員への呼びかけも大切。
- ・最近この学校の近くで殺人事件が起きたから警察たちがもっと見回りをする
- ・監視カメラを設置したり、駆け込み110番の場所を増やしたり、児童に防犯ブザーを持たせるようにする。

- ・警察官の数を増やす。防犯のグッズなどを市で購入して色々な場所に設置する
- ・冬の夜、三島神社を通るとき、とても暗くて怖いので、もう少し外灯を増やしたりしてほしいです。他にも道路を広くしておけば、車の接触事故を防げたり、大きい車でも通りやすいようになると思います。
- ・大人の人が、子供が安全に学校に行けるように信号などで大人が旗を振る
- ・防犯カメラやパトロールを増やす。
- ・信号を増やして欲しい。
- ・もうちょっと横断歩道や信号などを増やしたり、事故などがあつたらすぐに分かるアプリなどを作る。
- ・犯罪に関わらないよう呼びかけるポスターや、車を運転する人自体に注意を呼びかける
- ・かけこみ 110 番を増やす。
- ・孤独などに耐えられずに犯罪を起こすことを少なくするために、相談できるようにする
- ・犯罪では、至る所に防犯カメラを付けるなどの対策をすると良いと思います。そして交通事故では、交通事故が多い道路に目につく看板を付けるといいと思います。
- ・小学生が通る道などを大人が見送ったりする。
- ・監視カメラなどを付けたり、ポスターなどを貼ったりする。
- ・定期的に会議を開く 安全指導のイベント
- ・飛び出しをしないために飛び出しが多いところに看板を立てる
- ・狛江市内のいろいろな場所に監視カメラを付けたりスマホ運転禁止の呼びかけをする。
- ・曲がり角にカーブミラーがないところにはカーブミラーを付けて、信号機を増やす。
- ・街灯を増やして夜も明るい犯罪を犯しても明るい光が多いためすぐに見つかると思う。
- ・狛江市の小学生に犯罪や事故の防止ポスターなどを募集する。ひとりひとりが思いやりに作れるようなことをするようにしてもらおう
- ・町で交通ルールなどの体験会を開く。
- ・学校でもっと交通安全や犯罪についての授業をする
- ・防犯カメラをたくさん設置したり、お年寄りが住んでいる家の周りの設備をもっと強くしたらいいと思う。
- ・みんなの家にセンサー防犯ブザー的なものを必ず導入する（無料）
- ・狛江市内で看板や標語などを決めたり、しっかりと事故や犯罪に対策する。
- ・オレオレ詐欺防止のために留守番電話にしてほしいと呼びかける。
- ・犯罪をしている人は、何か恨みや、悲しいことがあつたのかもしれないから、そもそも、そのようなことをなくす取り組みを、街全体でする。
- ・交通事故防止の訓練をする

- ・安全指導の授業を取り入れる。
 - ・困りごとがあったらどこか相談できるところに行く・電話したりして悩みを減らす。
- 気をつける

【6 地震や台風などの災害（さいがい）に強い安全なまち】

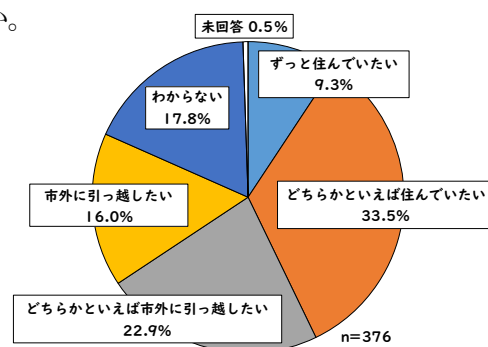
- ・水防訓練などを年に3回とかにする
- ・設備、橋などを耐震化する、雨水を貯める設備を作る、川をさらに掘る
- ・野川の周りの土を水喰土に変えれば良いと思う
- ・避難所を増やす。
- ・多摩川が氾濫しないように多摩川の映像をリアルタイムで見られるような監視カメラを増やしていつでも監視できるカメラが要ると思う。
- ・耐震性が高い家を増やして、屋上から多摩川が見られる家が増えてほしい。
- ・建物の下とかに倒れないような装置などが良いと思う
- ・地震などがきても、自分や家族など守れるように防災グッズなど用意をする。
- ・自助と共助に力を入れる。
- ・地震や台風などが起きたら、どのような行動をすればいいのを知っておく。
- ・防災訓練をしたり、非常食の準備ができていようにする
- ・災害対策として防災グッズを沢山売る
- ・狛江市に住んでるお家全部に狛江市のハザードマップなどを配る。。
- ・いつもは、何かの施設などに使っているところを避難所にする
- ・思い切って、大規模な多摩川の防波堤を作ったり、危険な場所の近くにある建造物の耐震対策。
- ・いつも安全なところを知っておく
- ・避難訓練などのことを狛江に住んでいる人にしてもらったり、危険な場所を知ってもらう
- ・多摩川の氾濫を抑えるということに力を入れてほしいです。
- ・ハザードマップを見ることへの呼びかけ
- ・避難所がたくさんあったり食料が保管または、配布される用にする。
- ・非常時に逃げる施設の確認や地図を備えておく
- ・防波堤の増築
- ・防災訓練を、もっと増やしたらいいと思う
- ・地震などに強い家を建築する。
- ・避難所を作ったり、学校の避難場所を拡大する。ハザードマップを詳しくする。
- ・建物の耐震性を強化する
- ・町の至る所に災害用の家などを建てて、その家に非常食など必要な物を置いておくといいと思います。

- ・道路を固くしたり、建物などに工夫する
- ・地域の人と協力して、災害対策をする。
- ・避難所を増やす
- ・建物の作りを頑丈にして、浸水の危険があるから少し建物を高くする。
- ・ほかの国の災害対策を参考にしたりして作る

中学生

問 大人になっても「狛江」に住み続けたいと思いますか。

	票数	構成比
ずっと住んでいたい	35	9.3%
どちらかといえば住んでいたい	126	33.5%
どちらかといえば市外に引っ越したい	86	22.9%
市外に引っ越したい	60	16.0%
わからない	67	17.8%
未回答	2	0.5%
合計	376	



問 住んでいたい理由はなんですか。(2つまで選んでください。)

	票数	構成比
住みなれていて愛着がある	114	37.4%
家族と暮らし続けたい	45	14.8%
自然環境がよい	54	17.7%
交通の便がよい	28	9.2%
買い物の便がよい	17	5.6%
図書館や体育館などの施設が充実している	10	3.3%
レジャー・娯楽施設が充実している	0	0.0%
子育てしやすそう	15	4.9%
今後発展しそう	4	1.3%
防犯・防災など安心して住める	14	4.6%
その他	4	1.3%
合計	305	

問 引っ越したい理由はなんですか。(2つまで選んでください。)

	票数	構成比
ほかのまちに住んでみたい	89	34.4%
実家から離れてみたい	34	13.1%
自然環境がよくない	7	2.7%
交通の便がよくない	8	3.1%
買い物の便がよくない	27	10.4%
図書館や体育館などの施設が充実していない	12	4.6%
レジャー・娯楽施設が充実していない	38	14.7%
子育てしづらそう	4	1.5%
今後発展しなそう	27	10.4%
防犯・防災など安心して住めない	2	0.8%
その他	11	4.2%
合計	259	

問 「狛江」にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		票数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境にやさしいまち	149	15.9%	2位
2位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲が良いまち	141	15.1%	9位
3位	犯罪や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	141	15.1%	3位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	105	11.2%	6位
5位	地震や台風などの災害に強い安全なまち	98	10.5%	7位
6位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	74	7.9%	8位
7位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	69	7.4%	1位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	45	4.8%	4位
9位	商店街などのお店が多くて活気があるまち	41	4.4%	5位
10位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	24	2.6%	10位
11位	その他	20	2.1%	12位
12位	狛江産の野菜や果物などがたくさん食べられるまち	17	1.8%	11位
13位	高齢者や障がいのある人がいきいきとすごせるまち	11	1.2%	13位

問 選んだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。(抜粋)

【5 犯罪や交通事故が少ない安心して暮らせるまち】

- ・警察のパトロールなど
- ・信号を増やす。
- ・罪を重くする。
- ・犯罪者が増えないように警察が見回りを強化する
- ・警察官をいっぱいおく
- ・道路などを広く取り、自転車が通る場所、歩行者が通る場所、車が通る場所を分けて、ゆとりのある道路にすればぶつかったりしなくて済むと思うのでそのてんをちゅうしんにかんがえていきたい。
- ・僕ら次の世代が道徳を学ぶ
- ・一人一人が意識する

- ・犯罪防止促すポスターを狛江にいっぱい貼る
- ・警備をもっとよくする
- ・ポスターや広告などで呼びかける
- ・朝に警察の警備が少ないから見回りを強化してほしい。(朝に限らずも)
- ・一人一人が犯罪や事故を起こさないように意識すること。それぞれ呼びかけやポスター制作などを積極的にやっていると色々な人に伝わりやすくする。
- ・今以上に交通整備を行い、一人ひとりが事故に気を付ける。交番を増やす。
- ・監視カメラや蛍光ボール、近くに警察官とかがあったら安心だと思った。
- ・呼びかける
- ・狛江警察署を作る。現在狛江の警察は調布警察署の付属のような存在だと思う。それだと何か判断するときは調布警察を通さなければいけなくて、判断が早ければ解決していたはずの事件が解決しなくなる。想像の部分は多いがこれが正しいのではないかと思う。
- ・市の政治家さんたちにこういうことを提案してみる・暗い場所に街灯を設置するなど
- ・ボランティアによる夜の巡回。交通安全教室の定期的開催
- ・犯罪や交通事故を少なくするためのイベントを行うとよいと思います。また、狛江市内のその日の事故についての情報を得ることができれば、身近な場所で起こったことなので、たくさんの方が興味を持ち、知ってくれると思います。他にも、ポスターの掲示などが必要だと思います。狛江市内にはすでにポスターがたくさん貼ってありますが、どうすれば事故や犯罪に巻き込まれにくくなるのかなどの情報が具体的に記してあるとみてくれる人が増えるのではないのでしょうか。
- ・警察の方が小中を訪れて指導することはすでに行われていますが、最近子供の事故が多く発生してるのでしっかりと交通安全について考えられる環境にしてほしいです。
- ・交通安全を呼びかける講演会を開く。
- ・防犯カメラを設置する
- ・交通事故が多そうなところに、防犯カメラを設置したり、重点的にパトロールをする。曲がり角で先が見えない部分はカーブミラーを設置する。夜にも見えやすいように、特に目立たせたい標識・看板をライトで囲む
- ・地域みんなで見守りや呼びかけをする。

【6 地震や台風などの災害に強い安全なまち】

- ・耐震工事や避難場所の強化増設
- ・災害の対策をもう少し整備する。古くなったやつを新しくする
- ・多摩川が氾濫しないように堤防を強くしてほしい
- ・多摩川の柵強化
- ・地下シェルターを作る

- ・学校などの施設の整備
- ・町の倒れてきそうなものを再建して頑丈にする
- ・主に災害対策をすればいいと思います。例えば、マンションなどに耐震工事をしたり食料の備蓄を増やしたりすればいいと思います。
- ・川を浅くする。水や強い揺れに強い建物にする
- ・防災訓練などを定期的に行う
- ・強風に強い木材やレンガを使って家を作る。
- ・避難所、高台を作る
- ・ポスターを狛江市内に貼る
- ・災害対策とかを教える教室をやってほしいです
- ・どこにいても誰でもわかるようにハザードマップに似た看板を立てる等
- ・狛江には多摩川というでかい川があるから堤防などを高くしたり強化する
- ・もう少し災害に興味や関心を持つように呼び掛けたりする
- ・体育館(避難所)や道路を強化する
- ・いろんな家具や、お店の棚などを固定し、物が倒れないようにする。避難場所を増やしてもらう
- ・野川や多摩川のまわりに壁を設置する
- ・防災教室を開く
- ・地震などに強い家を建てる
- ・ハザードマップを狛江市内のいろんなところに貼る。

③【狛江高校まちづくりに関するアンケート】

○調査概要

(1) 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、総合的な探求の時間において狛江市について学習した狛江高校3年生が狛江市が更に取り組むべきだと思う項目等を把握し、検討の基礎資料とするため、アンケートを実施した。

(2) 調査設計

- ・調査対象…狛江高校3年生
- ・生徒数……314人
- ・調査期間…令和5年9月11日～28日

(3) 調査項目

- ・住んでいる場所
- ・住んでいるまちは住みよいと思うか。
- ・将来、狛江市がどのようなまちであれば住みたいと思うか。
- ・総合的な探求の時間で取り組んだ分野
- ・狛江市が更に取り組むべきだと思う項目
- ・自由記述

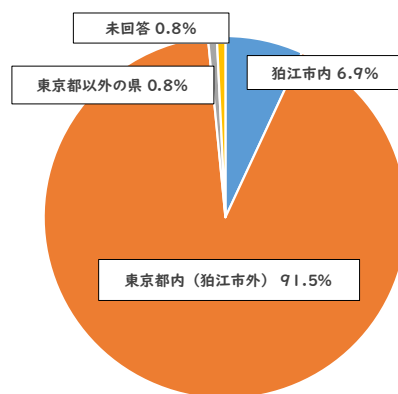
(4) 回答結果

260件（回答率82.8%）

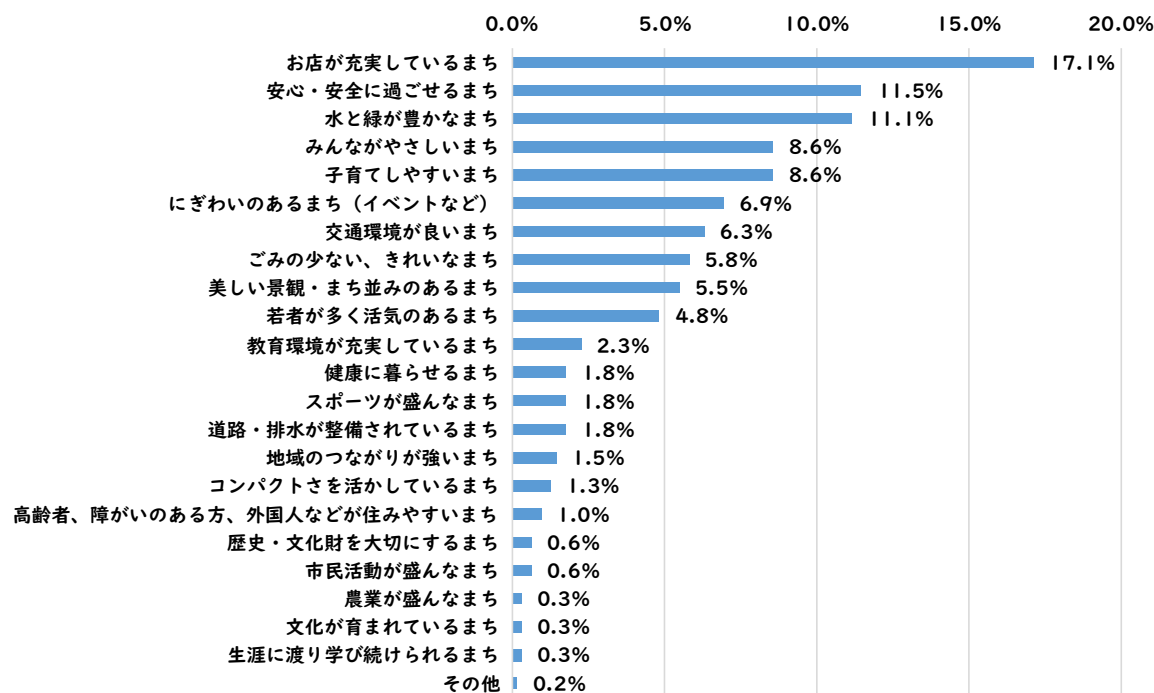
○調査結果

問 住んでいる場所を教えてください。

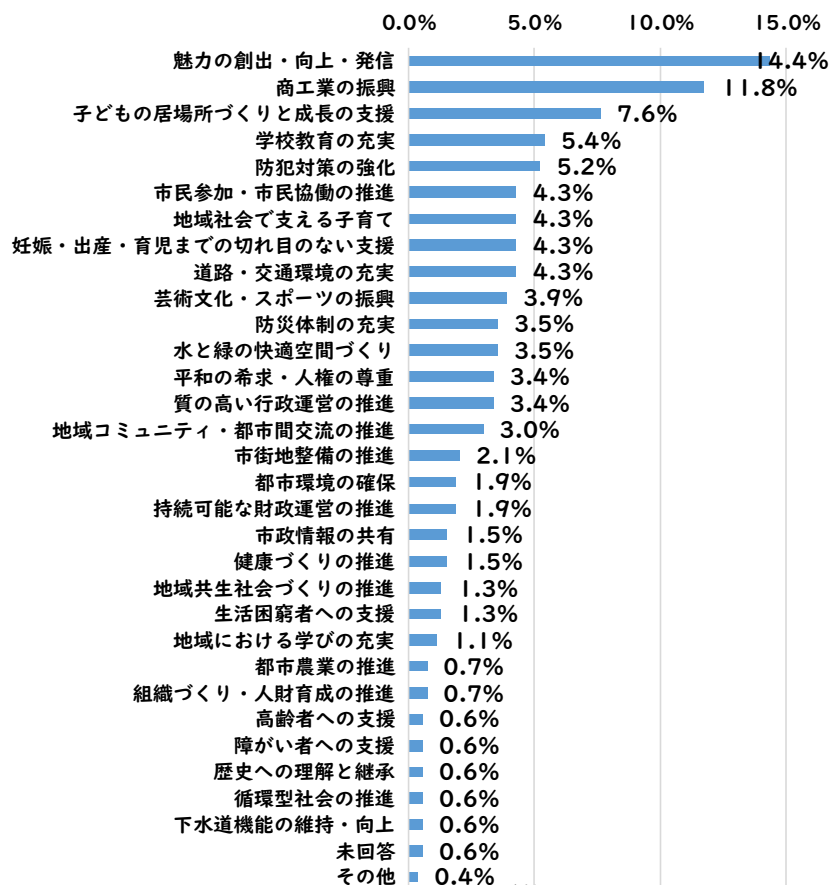
	回答数	構成比
狛江市内	18	6.9%
東京都内（狛江市外）	238	91.5%
東京都以外の県	2	0.8%
未回答	2	0.8%
合計	260	



問 将来、狛江市がどのようなまちであれば住んでみたいと思いますか。
(当てはまるものを3つまで選択してください。)



問 狛江市が更に取り組むべきだと思う項目を教えてください。



④【狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ】

○ワークショップ概要

(1) 目的

市民が感じている狛江市の魅力・課題、住みたいまちの姿、市民・市（行政）ができることについて話し合い、狛江市後期基本計画策定に係る基礎資料とする。

(2) 開催日時・場所

令和5年12月16日（土） 狛江市防災センター

(3) グループ構成・人数

グループ	分野	人数
A	男女共同参画・多文化共生・参加協働、地域振興・農業・商工業	6人
B	防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり	4人
C	子育て・教育・青少年	3人
D	保健・福祉・健康づくり	5人
E	生涯学習・芸術文化・歴史	4人

計22人

(4) プログラム

内容	時間
説明	20分
自己紹介	5分
①狛江市の魅力・課題について	40分
休憩	10分
②住みたいまちの姿について	45分
休憩	10分
③市民・市ができること	40分

(1) 狛江市の魅力・課題について

狛江市の魅力と課題についてグループごとにブレインストーミングにて話し合っていました。※重複するもの、専門用語等の一部文言は整理しています。

Bグループ（防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり）

魅力	課題
<p>《コンパクト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトな町、市がコンパクト ・道路が歩きやすい ・土地が平坦で移動しやすい ・自転車で端から端まで行ける ・コマバスで移動できるので便利 <p>《自然環境・景観》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑が多い ・多摩川、野川が近い ・多摩川辺りの自然環境景観 ・富士山が天気が良いと見える <p>《交通の便》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い ・郊外へも都心へも行きやすい ・都心へ電車で一本 <p>《イベント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縁日（市民イベント）活気がある ・花火大会 ・音楽の集まり、機械が多い <p>《TVドラマ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまにテレビに狛江市出る。 ・なんでも鑑定団 ・はりせんぼんはるな・おいでやす小田 ・堺まさとさん、君の名は、聖地巡礼、オタ活 <p>《子供が多い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉多摩川駅学生多い。 ・子供多い。 <p>《他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政が近い ・狛江駅前結構何でもある 	<p>《防災、防犯》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の水害、台風19号、線状降水帯 ・災害時の対応 ・防犯対策（駅から離れるとけっこう暗い） ・氷川神社の脇道暗い <p>《エンタメ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽もっと前面に ・学生楽しめるイベントもっと！ ・文化（音楽）創造（絵手紙）発信（タレント、ドラマ撮影） <p>《住》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション老朽化 ・高齢化により若い人が住みたい街に ・水道局用地エリアの再開発 ・町会の中での戸建て、アパート ・歩道と自転車の運行 <p>《食》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型スーパー欲しい ・飲食店の充実、少ない ・個性的なお店がほしい <p>《財政》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政が不安 ・企業誘致できないか（外資）

(2) 住みたいまちの姿について

(1) の魅力と課題を抽出していただいた後に住みたいまちの姿とまちのキャッチフレーズをグループごとに話し合っていました。

Bグループ (防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり)

住みたいまちの姿
<ul style="list-style-type: none">・災害に強いまち・安心安全なまち・自然環境が豊かなまち・若い人が楽しめるまち・商店街と多摩川とイベントが一体化
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none">・災害に強く、安心安全なまち・自然環境が豊かで、若者が楽しめるまち

(3) 市民・市（行政）ができることについて

(2) 住み続けたいまちの姿に向けて「わたしたち（市民）と市（行政）ができること」について話し合っていました。

B グループ（防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり）

市民	行政
<p>《災害》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備える、備蓄する ・避難場所確認 ・地域で自主的に防災に備えて集会、訓練をする <p>《商店街活性化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉多摩川商店街の活性化 ・狛江高校と市民や商店街との連携 ・エッジの効いた店を誘致 ・周囲の人との積極的なコミュニケーション <p>《地域復興》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狛江で飲食、買い物をする ・スポーツ振興 ・アニメ、ドラマ聖地にする <p>《イベント参加》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的にイベントに参加する ・イベント企画の協力 <p>《PR》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狛江のPR、シティセールス ・大学生に狛江を知ってもらう <p>《ライフスタイル》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職住近接型のライフスタイル 	<p>《防災・防犯》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の非常時の具体的な防災行動マニュアルを作り、学ぶ場を作る ・災害時の対応を周知させる。（避難訓練等） ・安心安全のためのイベント（防災カレッジ等） ・具体的な安心安全の施策が分からない、市民に伝わっていない（空き家対策等） <p>《企業誘致》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大企業の誘致（財政、財源の確保） ・水道局用地の活用 <p>《イベント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント主催 ・市民参加型のイベントを増やす ・様々なイベントによる集客を市民協働で行う <p>《市のイメージ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブな街のイメージづくり ・流行を読み、それに対応したお店を置く <p>《特産物》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産物（枝豆）をもっと全面に押し出す

⑤ 【狛江市前期基本計画推進プラン（令和4年度進捗状況報告書）

一部抜粋】

前期基本計画に掲げる指標の推移

■ まちの姿 2 安心して暮らせる安全なまち						
施策 2 - ① 防災体制の充実						
▼指標の推移						
No.	指標名	H30 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	目標値
1	自然災害に対して何らかの備えをしている市民の割合 (%)	65.3	70.5	71.9	66.1	69.0
2	昨年1年間に防災に関する催しに参加したことがある市民の割合 (%)	16.4	23.8	17.4	9.3	30.0
施策 2 - ② 防犯対策の強化						
▼指標の推移						
No.	指標名	H30 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	目標値
1	狛江市が治安の良いまちだと感じる市民の割合 (%)	92.9	92.0	92.6	84.8	98.0
2	市内刑法犯認知件数のうち、凶悪犯を除いた件数 (件) ★()内は凶悪犯の市内刑法犯認知件数	376	309 (1)	276 (2)	307 (2)	300
3	特殊詐欺被害件数 (件)	30	27	38	33	20

主要事業の取組

■ まちの姿 2 安心して暮らせる安全なまち

施策 2 - ① 防災体制の充実

▼方向性 1 自助・共助活動の促進

・ 様々な手段や機会を通じて、備えに必要な情報の的確な提供に取り組んでいくことで、市民一人ひとりの「自助」の意識の醸成に努めていきます。

・ 「共助」の柱である自主防災組織について、「共助」の必要性や重要性を伝えることで、幅広い層の参加につなげていきます。特に、若年世代や子育て世代、アクティブシニア世代の参加促進を図ることで、自主防災組織の活性化に取り組んでいきます。

・ コンパクトである地域特性を活かした市民同士のつながりを軸に、防災活動の核となるような人材の育成にも意識して取り組んでいきます。

▼取組状況

主要事業 7	「自助」の強化のための啓発	関係部署	安心安全課
-----------	---------------	------	-------

概要

市民一人ひとりが家庭ででき、日頃からできる備えについて、安心安全通信の発行や防災カレッジの開催等を通じて情報提供するとともに、その後の「共助」につなげていきます。また、大型民間商業施設との協定により、立体駐車場等のスペースについて、特に水害時の一時避難場所として確保する取組に努めていきます。

R4年度の取組

【取組内容】

- 安心安全通信を3回発行、全戸配布し、防災・防犯・消防に関する情報を幅広い市民へ発信したことに加え、市ホームページに掲載する際、各紙面の画像と記事タイトルを表示することで読みやすさ・分かりやすさに配慮し、その概要が分かる構成とした（再掲）。
- 防災カレッジを4回開催（参加者計：62人）し、災害への自助の備え、風水害に備えたマイ・タイムライン、ミサイル攻撃時の避難行動について啓発を図った。
- ★日時・会場を問わず受講ができるよう、防災カレッジを狛江市公式YouTubeで配信した。
- ★元和泉2・3丁目町会との市民提案型市民協働事業において、自助の啓発・共助の推進を目的として元和泉地区において防災まち歩きセミナーを開催するとともに、電柱へ想定浸水深テープを設置し、地区内における水害リスクの見える化を図った。

▼取組状況

主要事業 8	地域のつながりを活かした「共助」の推進	関係部署	安心安全課／まちづくり推進課
-----------	---------------------	------	----------------

概要

避難所運営協議会や防災会といった自主防災組織への支援を行うことで、「共助」による防災体制の充実を図るとともに、総合防災訓練等を通じて連携を強化していきます。また、メンバーの固定化や高齢化といった課題解消に向けた支援に取り組んでいくことで、より一層の自主防災組織の活性化を図っていきます。

R4年度の取組

【取組内容】

- 地域での防災訓練や講習会等の活動、災害時は共助の中心となる狛江市防災会及び震災時等に避難所の開設・運営等を行う避難所運営協議会に対し、補助金の交付等により活動を支援し、防災体制の充実を図った。
- 総合水防訓練では、避難所運営協議会と市内指定避難所11箇所一斉の避難所開設・運営訓練を行い、連携強化を図った。
- ★総合防災訓練では、避難所における支援物資の受取り及び配布に着目した避難所運営訓練を実施し、各避難所運営協議会の体制強化を図った。
- ★元和泉2・3丁目町会との市民提案型市民協働事業において、自助の啓発・共助の推進を目的として元和泉地区において防災まち歩きセミナーを開催するとともに、電柱へ想定浸水深テープを設置し、地区内における水害リスクの見える化を図った（再掲）。
- ★駒井町・猪方地区に関する防災まちづくりワークショップを開催し、専門家による講演と意見交換等により災害に係る今後のあり方等を考える機会となった。

▼方向性2 防災機能の強化			
<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体や事業者との協定の締結を引き続き推進するとともに、平常時からの訓練等を通じて協定締結先とより一層の連携強化を図ることで、災害時の支援態勢が実効性のあるものとなるよう努めていきます。 ・災害時は、市役所及び防災センターを災害対策の拠点としながら、初動期から迅速に対応できる態勢を整備していきます。また、防災行政無線やSNS等を活用し、市民への情報伝達体制の整備を進めていきます。 ・災害時の被害を最小限にとどめるとともに、早期の復旧ができるよう、災害に強い防災都市づくりを推進していきます。 			
▼取組状況			
主要事業 9	災害時情報伝達体制の強化	関係部署	秘書広報室／安心安全課／福祉政策課
概要	災害時に適切かつ迅速に情報が届くよう、災害時のHPへのアクセス集中に伴う負荷を分散させるためのミラーサーバの導入を行うとともに、狛江FMとの連携等を図ることで情報伝達体制の整備を進めていきます。また、避難所での受付を電子化し、避難者状況をHP上で可視化できるといった防災におけるICT技術の導入の検討も進めていきます。		
R4年度の取組	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○狛江FMへの市職員の出演や市からの情報提供に基づく市政情報の発信を行い、狛江FMとの日常的な連携強化を図った。 ○総合水防訓練及び総合防災訓練で災害協定を締結している狛江FMと連携し、災害情報発信体制を強化した。 ○総合水防訓練ではバカンマップスを使用した避難所開設状況を周知する訓練を実施し、避難所混雑情報発信の仕組みを整えた。 ★狛江市地域見守り活動支援対象者名簿に登録があり、個別計画を策定されている方を対象に、自動起動機能付きラジオの配布を行い、災害時に適切な避難行動をとるための情報を得ることが難しい方への災害時の情報伝達体制の強化に努めた。 		

▼取組状況			
主要事業 10	防災体制・支援態勢の充実	関係部署	安心安全課／地域活性課／福祉政策課 ／下水道課／学校教育課
概要	過去の教訓を踏まえ、災害対策用備品の充実や避難所機能の充実等を図ることで、防災体制を充実していきます。また、避難所運営協議会や災害に関する協定先との平時からの訓練を通じた連携強化を図ることで、災害時の支援態勢を実効性のあるものとしていきます。		
R4 年 度 の 取 組	<p>【取組内容】</p> <p>○民間事業者等（自治体との三者協定を含む）との新たな災害協定の締結、また調布市との合同排水樋管対応訓練の実施等、広域的な防災体制の強化を図った。</p> <p>★風水害時における緊急時避難場所施設利用に関する協定を締結している民間事業者及びバス利用に関する協定を締結している民間事業者、地域住民の避難訓練を実施し、連携強化を図った。</p> <p>★狛江市避難行動要支援者避難支援連絡協議会にて検討した福祉避難所必要物品一覧の中で、消費期限がなく特に必需品とした物品として、間仕切り、エアーストレッチャー等を購入した。</p> <p>★総合水防訓練において、市内11箇所の指定避難所において福祉避難スペースの設置訓練を行うとともに、福祉避難所に指定されている愛光女子学園と福祉避難所設置・運営訓練を行い、連携強化を図った。</p> <p>★災害用マンホールトイレを狛江第三小学校に設置し、全小中学校への整備を完了した。</p>		
▼取組状況			
主要事業 11	防災都市づくりの推進	関係部署	安心安全課／まちづくり推進課
概要	市内に残る旧耐震基準で建築された木造住宅等の耐震化について、診断・改修に対する助成等の支援を行っていきます。また、世田谷通り等が指定されている特定緊急輸送道路の沿道の建築物の耐震化について、震災被害の早期普及の観点からも推進していきます。		
R4 年 度 の 取 組	<p>【取組内容】</p> <p>○旧耐震基準の木造住宅等の耐震診断・改修に対する助成（助成件数：診断5件、改修2件）、耐震化に関するアドバイザー派遣（3件）及び分譲マンション耐震診断助成（1団地4棟）を実施し、過去に耐震性が不足していると診断された所有者等に対して耐震化促進の案内を送付し、耐震化に努めた。</p> <p>○危険ブロック塀等の撤去に対する助成を行い、危険ブロック塀の撤去を6件行った。</p> <p>★防災指針を盛り込んだ立地適正化計画を策定した。</p>		

▼方向性3 風水害に対する備えの強化

- ・風水害に着目した災害対応体制の整備について、過去の教訓を活かすとともに、流域自治体や多摩川を管轄する国土交通省京浜河川事務所、野川を管轄する東京都建設局等と連携して進めていきます。また、避難を含む実践的な水防訓練を実施する等、市民の風水害に対する意識の向上を図っていきます。
- ・風水害による被害を最小限にとどめるため、多摩川の天端の整備等に向け、関係機関との協議・連携を進めます。
- ・過去の風水害による被害を風化させないよう、後世に伝えていくことで、風水害に対する備えを強化していきます。

▼取組状況

<p>主要事業 12</p>	<p>風水害に着目した防災体制・支援態勢の充実</p>	<p>関係部署</p>	<p>安心安全課／地域活性課／下水道課</p>
<p>概要</p>	<p>特に令和元年東日本台風の教訓を踏まえ、風水害時の避難所の見直しとともに、洪水ハザードマップを掲載した防災ガイドを市内全戸に配布していきます。また、可搬式ポンプや救命ボート等の風水害時の災害対策用備品の充実とともに、近隣自治体との訓練等を行っていくことで、風水害に対する備えを強化していきます。</p>		
<p>R4年度の取組</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○浸水被害を防止・軽減するため、令和3年12月に配備した排水ポンプ車の運用訓練（計：4回）を消防団が実施し、運用体制の確立を図るとともに風水害への備えの強化を図った。 ★総務省消防庁から委託された「消防団の力向上モデル事業」の一環として作成した、排水ポンプ車運用を主軸にした市民向け消防団活動動画を公開し、市民の風水害に対する意識向上を図った。 ★総合水防訓練では、避難所運営協議会と市内指定避難所11箇所一斉の避難所開設・運営訓練を行い、連携強化を図った（再掲）。 ★浸水被害を軽減するため、狛江市下水道浸水被害軽減総合計画を策定した。 ○浸水被害を軽減するための対策等を総合的に推進することを目的とした「調布市・狛江市の水害対応等に関する検討会」を継続して行った。 ★六郷排水樋管監視カメラの増設し、HP上で公開した。 ○不測の事態が発生する等、職員が樋管操作室に近づけない場合に備え、猪方排水樋管を遠隔制御化するための詳細設計を行ったほか、六郷排水樋管を遠隔操作化するための工事を実施した。 ○風水害を想定した調布市との連携による訓練を実施し、お互いの体制等を確認するとともに、連携の強化を図った。 ★内水ハザードマップについて、ホームページ上だけでなく、狛江市防災マップのアプリにも対応可能とし、スマートフォンでも確認できるよう利便性を向上させた。 		

▼取組状況			
主要事業 13	風水害に着目した防災都市づくりの推進	関係部署	安心安全課／施設課／環境政策課 ／下水道課／整備課
概要	令和元年東日本台風による浸水被害を踏まえ、国や都等の関連機関と共に作成した多摩川緊急治水対策プロジェクトに基づき、浸水対策事業を進めています。また、雨水浸透施設等の整備や猪方排水樋管及び六郷排水樋管の遠隔操作化を進める等、治水対策を推進していきます。		
R4年度の取組	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○浸水被害の軽減、地下水涵養等を目的として、雨水浸透ますの設置に対する助成金及び雨水貯留槽の設置に対する助成金を交付した。 ○既設道路集水ますの浸透化工事を実施した。 ○調布市との協議により浸水被害対策の短期対策として、逆流防止ゲートの設置工事を根川第1雨水幹線にて実施した。 ○不測の事態が発生する等、職員が樋管操作室に近づけない場合に備え、猪方排水樋管を遠隔制御化するための詳細設計を行ったほか、六郷排水樋管を遠隔操作化するための工事を実施した。（再掲） ○浸水被害を軽減するための対策等を総合的に推進することを目的とした「調布市・狛江市の水害対応等に関する検討会」を継続して行った。（再掲） ○市道第3号線通路新設工事にて7.0㎡、市道第730・732号線道路新設改良工事にて35.8㎡、市道第523・533号線（ぼかぼか広場）整備（第I期）工事にて49.5㎡、合計92.3㎡の雨水浸透施設を設置した。 		

施策2-② 防犯対策の強化

▼方向性2 地域の防犯体制の充実

- ・コンパクトな地域特性を活かした地域における見守り活動や安心安全パトロールについて、全市的に展開することで、地域のつながりをより一層深め、犯罪の更なる減少につなげていきます。また、市民同士のつながりを軸に、防犯活動の核となるような人材の育成も意識して取り組んでいきます。
- ・子ども・高齢者を狙った犯罪や、暗がりを生みやすい公園や空家等の対策等について、学校・福祉・環境・都市整備分野等と連携することで、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めていきます。

▼取組状況

主要事業 14	地域のつながりによる防犯力の向上	関係部署	安心安全課／学校教育課
概要	見守り活動や安心安全パトロール等の活動について、コンパクトな地域特性、地域のつながりを活かして展開していきます。また、安心安全通信の発行や調布警察署等との連携により、防犯対策の啓発、特に特殊詐欺に対する注意喚起を行っていきます。		
R4年度の取組	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防犯協会と連携したパトロールの実施、調布警察署、調布市と連携した特殊詐欺対策の取組を進め、安心安全通信や防犯講演会等による防犯意識向上に取り組んだ結果、認知件数が減少した。(R3:38件→R4:33件) ○調布警察署と連携し、自動通話録音機の貸与事業を実施し、特殊詐欺被害の防止に努めた。(貸与件数：197件) ★自転車盗難対策として自転車盗対策ステッカーを700枚作成し窓口で配布することで防犯意識向上に取り組んだ。 ★自転車盗難対策チラシを作成し駅頭キャンペーンや市内イベントで配布、周知することで防犯意識向上に取り組んだ。 ○児童の安全確保のため、通学時間帯の通学路の見守りや通勤途中にパトロール等を行う学校安全ボランティア活動を行った。学校安全ボランティアの登録者数は、減少したものの、現在の学校安全ボランティア登録者に次年度の登録申込書を送付する際、児童が卒業する保護者に引き続き可能な範囲での協力をお願いするメッセージを加えるとともに、学校だけでなく学校教育課においても申込みを可能とすることで、担い手の確保に努めた。 		

▼取組状況		
主要事業 15	犯罪が発生しにくい環境づくり	関係部署 安心安全課／環境政策課／まちづくり推進課 ／学校教育課
概要	暗がりや死角を生む可能性のある公園や空家等の適切な管理や子どもたちを守るための取組について、庁内横断的に取り組んでいきます。また、犯罪の抑止を目的とした防犯カメラの運用を行い、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めていきます。	
R4年度の取組	<p>【取組内容】</p> <p>○町会・自治会等による防犯カメラの設置、設置した防犯カメラに係る電気料等に対して補助金を交付し、防犯カメラの設置を促進した。</p> <p>★新規の防犯カメラを合計9台、市、町会・自治会で設置し、老朽化した市設置防犯カメラ4台の更新を実施した。</p> <p>★市内で令和5年1月に発生した強盗殺人事件を受けて、住宅等防犯対策補助金を令和5年4月1日から開始することを決定し、他自治体を参考に例規整備等の制度設計を行い準備を進め、犯罪の抑止に努めた。なお、より実効性を高めるため、事件翌日の令和5年1月20日からの遡及適用とした。</p> <p>○樹木の繁茂等がみられる等、適切な管理がなされていない空地等について50件の苦情があり、所有者・管理者への働きかけにより改善を図ることで、良好な環境づくりに貢献した。</p> <p>★令和4年12月に和泉多摩川児童公園、清水川公園、松林児童遊園、令和5年2月に元和泉さんかく広場に防犯カメラを設置し、犯罪の抑止に努めた。</p> <p>★空家等実態調査の結果に基づき、管理不全の空家等（特定空家等候補）に対し適切な管理を促す通知を送付し、空家等の改善対応につながった。</p> <p>○特定空家等に新たに2件認定し、適切な管理を促すための手続を進めた。</p> <p>○通学路安全対策会議で設置個所を検討し設置した市内通学路の防犯カメラ60台について、適切な維持管理を行い、通学路の安心安全の向上に寄与した。</p>	